

		卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)
学部全体		法学部は、学士課程教育において、法的にまたは政策的に「考える力」、「表現する力」、「議論する力」を用いて、社会に生起する具体的問題を解決しうる基礎的能力を有する人材の育成を目的としています。このことを踏まえ、本学が定める学修成果を達成すべく編成された教育課程を学修し、所定の単位を修得したものに、本学の学位を授与します。	法学部の教育は、具体的には以下のような能力の育成を目指しています。 1. 少人数の演習や双方向的授業を通じて得られる、法的ないし政策的に「考える力」「表現する力」「議論する力」の育成 2. 法と政策の双方向から、現実の社会に生起する問題に対応しうる基礎的能力の育成 3. 法的な考え方と政策的な考え方の基本を理解した上で、法的思考や政策的思考の社会的な役割と限界を認識する力の育成 4. 幅広い視野と総合的判断力をもって、法的ないし政策的な考え方それ自体を批判的に認識する能力の育成	地方中核大学の法学部として情報化・国際化・高齢化などが進む21世紀において地域社会・国際社会に貢献できる個性ある学部づくりを目指す本学部は、4年一貫の少人数教育を重視するとともに、学生の主体的・積極的な学習を大切にするカリキュラムを提供しています。 このような観点から、本学部は、次のような能力・資質をもった人を求めています。
法学科	アドバンスコース・リーダー	法学科アドバンスコース・リーダーは、学士課程教育において、「国際社会・地域社会で生じている様々なレベルでの紛争の解決に必要な基礎的能力を備えた人材の養成」及び「法科大学院及び社会科学系大学院進学に必要な基礎的能力を備えた人材の養成」を目標とし、特に、「国際的」及び「地域的」な視野から、「法的」及び「政策的」に考え、表現し、議論する基礎的能力、すなわち様々な法規範に関する知識とそれに裏付けられた政策の企画、立案、形成を通じて、国際社会・地域社会で生じている様々なレベルでの紛争の予防・解決に向けたリーダーとなる基礎的能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成された教育課程を学修し、所定の単位を修得したものに、本コースの学位を授与します。	体系性：法学各分野の学問体系を基盤として科目群を構成して、国際・地域社会における紛争の予防・解決に向けた基礎的能力を養成する学問領域全般を体系的に修得できるように教育課程を編成している。 段階性：1・2年次で法学、政治学、経済学の分野から精選された基本科目を学修した上で3・4年次では進路指向型のコース別教育により国際社会・地域社会で生じている様々なレベルでの紛争を解決しうる専門的な素養を身につけるように配置された諸科目を履修する。 個別化（進路への対応）：国際機関、国際企業、地方上級公務員、法律系公務員などへの就職、法科大学院等への進学、資格試験の受験を志向する学生を対象として必要な科目群を設定し、学生の進路指向に適応した教育を行う。	1. 法学・政治学・経済学を学ぶ上で必要となる中等教育についての幅広い基礎学力をもっている人 2. 他者・社会・公共への関心をもち、他人の異なった意見に謙虚に耳を傾ける人 3. 自分の頭で柔軟かつ論理的にものを考え、率直に議論・対話できる人 4. 公正・公平を追求する心、地域的および国際的な感覚をもっている人 5. 社会や公共、とりわけ自らが生まれ育ち又は生活する地域社会における諸問題に対して、広範な知見の収集、他者との議論や対話を通じて解決策の提示を行う意欲のある人
	法学・公共政策学コース	法学科法学・公共政策学コースは、学士課程教育において、「企業法務に必要な基礎的能力を備えた人材の養成」、及び「公共政策の形成に必要な資質と基礎的能力を備えた人材の養成」を目標とし、特に、「法的」及び「政策的」に考え、表現し、議論する基礎的能力、すなわち実定法規の解釈・運用とそうした素養に裏付けられた政策の企画、立案、形成を通じて社会の具体的問題を解決しうる基礎的能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、以下に示す学修成果を達成すべく編成された教育課程を学修し、所定の単位を修得したものに、本コースの学位を授与します。	体系性：各分野の学問体系を基盤として科目群を構成して、法学・公共政策学全般を体系的に修得できるように教育課程を編成している。 段階性：1・2年次で法学、政治学、経済学の分野から精選された基本科目を学修した上で3・4年次では進路指向型の教育により公共政策学の専門的な素養を身につけるように配された諸科目を履修する。 個別化（進路への対応）：主に企業・公務員などへの就職を志向する学生を対象として、必要な科目群を設定し、学生の進路志向に適応した教育を行う。	法学部では幅広い基礎学力に関して、以下のように考えています。 法学部の教育目的は「社会に生起する具体的問題を解決しうる基礎的能力を育成する」ことにあります。現代社会は多様で複雑であり、そこに生起する問題もまた多様で複雑です。入学後そのような諸問題に対する関心を有し深めてゆくには、高校段階で受験科目がどうかにかかわらず、文系科目全般をはじめ理系科目や実技系科目などにも興味を有していることが望まれます。

# 学修成果（法学部）

法学科	
アドバンスト・リーダー・コース	法学・公共政策学コース
<p><b>豊かな教養</b></p> <p>・幅広い視野と批判的思考力と総合的判断力を持っている。 ・人間と社会と自然に関して深く理解している。</p>	<p><b>豊かな教養</b></p> <p>・幅広い視野と批判的思考力と総合的判断力を持っている。 ・人間と社会と自然に関して深く理解している。</p>
<p><b>確かな専門性</b></p> <p>・法学・政策学の基本的理論・概念について説明することができる。 ・国際的・地域の見地から、紛争の予防・解決に必要な法学・政策学の研究手法を使用することができる。 ・法的・政策的な考え方の役割と限界を認識している。</p>	<p><b>確かな専門性</b></p> <p>・法学・政策学の基本的理論・概念について説明することができる。 ・法学・政策学の研究手法を使用することができる。 ・法学・政策的な考え方の役割と限界を認識している。</p>
<p><b>創造的な知性</b></p> <p>・国際社会・地域社会に生起する問題を法的・政策的な考え方をを用いて見出し、交渉などを通じた具体的解決方法を提示することができる。</p>	<p><b>創造的な知性</b></p> <p>・現実の社会に生起する問題を法学・政策的な考え方をを用いて見出し、解決方法を提示することができる。</p>
<p><b>社会的な実践力</b></p> <p>・紛争を法的・政策的に、交渉などを通して、予防し、解決できる能力を備えている。</p>	<p><b>社会的な実践力</b></p> <p>・紛争を法的・政策的に予防し、解決できる能力を備えている。</p>
<p><b>グローバルな視野</b></p> <p>・国際化に対応しうるコミュニケーション能力や外国語の運用能力がある。</p>	<p><b>グローバルな視野</b></p> <p>・国際化に対応しうるコミュニケーション能力や外国語の運用能力がある。</p>
<p><b>情報通信技術の活用力</b></p> <p>・情報技術を使用して、情報の収集・分析や発信を行うことができる。</p>	<p><b>情報通信技術の活用力</b></p> <p>・情報技術を使用して、情報の収集・分析や発信を行うことができる。</p>
<p><b>汎用的な知力</b></p> <p>・法学・政策学の手法を用いた多様な問題解決方法を一般的に理解しやすく立案、形成、実施することができる能力を備えている。</p>	<p><b>汎用的な知力</b></p> <p>・法学・政策学の手法を用いた問題解決方法を一般的に理解しやすく企画、立案、形成することができる能力を備えている。 ・法学・政策的な考え方の社会的意味と限界を認識した上で、法的素養に裏付けされた政策の企画、立案、形成ができる。</p>